

第30回大阪府新型コロナウイルス対策本部会議 議事概要

- と き：令和2年11月24日（火曜日）17時03分から17時53分まで
- ところ：新別館南館8階 大研修室
- 出席者：吉村知事・田中副知事・山野副知事・山口副知事・副首都推進局長・危機管理監・政策企画部長・報道監・総務部長・財務部長・スマートシティ戦略部長・府民文化部長・IR推進局長・福祉部長・健康医療部長・商工労働部長・環境農林水産部長・都市整備部長・大阪港湾局長・住宅まちづくり部長・教育長・府警本部警備部長・大阪健康安全基盤研究所公衆衛生部長・大阪市健康局首席医務監

【会議資料】

会議次第

- 資料1-1 現在の感染状況・療養状況について
- 資料1-2 重症患者数の推移
- 資料2-1 イエローステージ（警戒）の対応方針に基づく要請
- 資料2-2 （参考）イエローステージ（警戒）の対応方針に基づく要請 新旧対照表
- 資料2-3 Go To キャンペーン、少人数利用・飲食店応援キャンペーン事業への対応
- 資料2-4 専門家等の意見

【吉村知事】

- ・皆さんお疲れ様です。大阪における新型コロナウイルスの感染状況ですけれど、先日、1日の感染者数が490名に達する日もありました。確実に感染は右肩上がりという状況になっています。
- ・また、重症者も過去最高の数になっています。重症病床の使用率も47%で、50%を超えることはもうほぼ間違いないという状況になっています。医療体制も非常に厳しい状況です。
- ・この間、医療従事者の皆さんには、医療が逼迫する中で、最前線で必死の命を救う活動をしていただいています。
- ・現在の感染状況、そして医療の逼迫状況を考えたときに、府民の皆さんに、より強い感染防止策をお願いすべき時期だと思っています。命を守るためにも医療崩壊を防ぐためにも、感染拡大を防ぐブレーキの方に今は力を注がなければならない。
- ・そして、府民の皆さんと一致団結して、この感染拡大を抑止するというのを重点的にやっていきたいと思っています。
- ・そういった観点から、前回の本部会議を開催し、重症病床使用率が50%に達すれば、12月5日を待たずして会議をするという方針を決めましたが、本日そういった状況でもありますので、改めて本部会議を開催し、この大阪府の方針というのを定めたいと思います。
- ・感染拡大防止策の方により力を入れてやりたいと思いますので、国との関係においても、GoToトラベルそしてGoToイートについて、ここはいったん、大阪府においては立ち止まるべきだ、中断すべきだという考え方です。国への要請事項も含めて、本会議で決定していきたいと思っています。
- ・また今週の金曜日、27日から時短要請をお願いしたいと思っています。先ほど大阪市の松井市長から大阪

市としての意見もお聞きをしました。

- ・そしてまた、囲み取材も先ほどやりましたが、大阪市の意見は最大尊重して、感染がやはり多いのが、人口比でも2倍以上が大阪市内ですから、大阪市内における休業要請そして感染拡大防止ということを、今日皆さんと議論した上で、最終、府としての方針を判断していきたいと思いますので、よろしくをお願いします。

※資料1-1に基づいて、健康医療部長より説明。

※資料1-2に基づいて、健康医療部長より説明。

※資料2-1に基づいて、危機管理監より説明。

※資料2-2に基づいて、危機管理監より説明。

※資料2-3に基づいて、危機管理監より説明。

※資料2-4に基づいて、健康医療部長より説明。

【吉村知事】

- ・大阪府民の皆さんに、夏、第二波のときも「5人以上の宴会・飲み会を控えてください」というお願いをしていて、そのときに、ミナミのエリア（での時短要請、休業要請）ということでやりましたが、そのときに飲食そのものを控えてくださいというところまではやっていなかった。
- ・今回もそれと同じで、休業要請はするけれども、府民に対しては、飲食を禁止してくださいということではなく、その飲食の仕方に注意してください、そういうことですか。

【危機管理監】

- ・そうです。ただ、GoTo イートとか少人数キャンペーンとか、行政として奨励するような行為は府全域で少し控えましょうということです。

【吉村知事】

- ・府全域で控えるか、大阪市内で控えるかという問題もあると思うんですけど、府全域で控えるということにしたというのは、先ほど専門家の意見で、「できるだけ大阪府全域を」という話もありました。感染症の専門家の立場からしてそういう意見もあろうかと思うんですが、そういうことも踏まえて、飲食店を支援する GoTo イートも府独自でやっている少人数応援キャンペーンもいったん停止という理解でよろしいですか。

【危機管理監】

- ・奨励行為は府全域で停止して、営業時間短縮等の要請についても、今回は市内の一部としましたが、今後状況が厳しくなれば、それを広げていく、あるいは時間制限をさらに厳しくしていく、そういうことも考えていく必要があると思います。

【吉村知事】

- ・国への要請として、GoTo トラベルについては一時停止をお願いする、僕自身もそうすべきだと思

ます。

- ・大阪市内で、トラベルについての一時停止ですけれども、期間についてはどれぐらいというのはあるんですか。分科会では3週間程度というのがありましたけれど。

【危機管理監】

- ・国では、今日決定されると聞いております。報道ベースでは、期間については、今日の決定から3週間程度を想定しているというようなことですが、組織決定は今夜と聞いています。

【吉村知事】

- ・大阪市内、特に北区、中央区を中心とした繁華街での感染拡大を防ぐ、発火点を防ぐということは非常に重要なことだと思います。休業要請は北区、中央区に限定するけれども、GoToトラベルについては北区、中央区に限定しない、大阪市全域でというのは何か理由があるんですか。

【危機管理監】

- ・先ほど申しあげましたように、5つの場面について感染リスクが高い、大人数や長時間による飲食というのは特にリスクが高い。これを抑制するために、対象地域を設定して、今回、時短要請します。一方、大阪市内では、他市町村と比べて感染症感染者数が多いという説明が藤井健康医療部長からありました。
- ・時短要請については、先ほど申しあげましたように、たくさん人が集まる、お店がたくさん集積しているところを規制することによって、この5つの場面というリスクの高いところを抑えていきたいということです。
- ・一方、GoToトラベルの方は5つの場面で必ずしもどこということを出ていないですが、移動を抑制することになるかと思いますが、飲食店は人の多いところ限定しましたけれども、ホテルについては、市内一円ございましてそれを対象にしたということです。

【吉村知事】

- ・休業要請・時短要請をお願いするエリアですけれど、僕自身も大阪市長からの意見をお聞きして、資料にもありましたけれども、中央区、北区のエリアで大阪市内の飲食店の約半数の25,000店舗がある。24区中この2区で半分の飲食店であったり、接待を伴うスナックとかバーとかキャバレーもあるということで、繁華街という意味では、この北区、中央区に非常に狭いエリアに店が集積しています。
- ・何とかこの繁華街での感染拡大を防ぐ、発火点を防ぐというのが、市長の考え方で、僕自身もそういう考え方で進めていくべきだと思いますので、北区、中央区この2つの区内のお酒を提供するお店、それから接待を伴う飲食店、カラオケ店等に、時短の要請をしたいと思います。
- ・それから、支援金については、国の支援金の制度が1日2万円で15日間ですから30万円。ここには地元負担分もあります。ここは府市で負担をして、そして大阪市独自の上乗せ20万円の支援を追加する。2週間で50万円という支援金で、非常に飲食店も厳しい状況だと思いますが、時短要請をしたいと思います。GoTo イートの部分ですが、新たにポイントの利用の自粛ということですが、オンラ

イン予約というのは、もうすぐ終わるという話もありますが、まだやっていると思うんですが、ここはもう制度として難しいということになるんですか。

【危機管理監】

- ・お店に対してポイントを付与しないと、そういったことを義務付けるのはシステム上難しいと聞いています。

【吉村知事】

- ・そうすると、新たな食事券の新規発行は停止する、それから利用については自粛を要請するということですね。
- ・大阪府でやっている少人数飲食応援キャンペーンについては、12月末までの予定ですが、いったん、新規予約を停止するというのでいいんですか。

【政策企画部長】

- ・はい。できれば11月27日から、新たに予約をしてポイントを付与するという点については停止をしたいと考えています。

【吉村知事】

- ・27日に休業要請・時短要請をしますので、その時点でできるだけ合わせて、この大阪府の飲食応援キャンペーンも、新規予約を停止するという点でお願いしたいと思います。既に予約が入っている分については、キャンセルをなかなか強制することもできないので、それは維持した上で、新たな予約は停止するという理解でいいですか。

【政策企画部長】

- ・そういう理解で結構です。

【吉村知事】

- ・GoToトラベルは、国に今日のこの会議が終わった段階で申請しますが、いつから適用するかということについて、これは国の制度なので、最終の判断権は国になると思いますが、できるだけ11月27日を基準日としてお願いしたいと思います。
- ・27日か28日かシステム上の問題もあると思いますが、できるだけ早くその時期に合わせた形でのGoToトラベルの一時停止をお願いしたいと思うので、要請の際によろしくお願いします。
- ・話が戻るんですが、重症病床の確保は、今は118ですか、120ですか。

【健康医療部長】

- ・昨日時点は118ですが、今日は120ということで、日々積み上げています。
- ・ただ、ここ1週間ほどは、日々積み上げているペースよりも、重症患者の発生数の方がペースが早いという状況は続いておりますので、緊急避難的な対応として、例えば小児の重症を予定していた病院

に成人の患者対応をしてくださいとお願いしたり、中等症の受入病院のところに何とか重症をとっていただけないかというお願いも含めて、毎日の重症患者受入病床を確保しているところです。

- ・それで当面、12月1日あたりまでに215の計画数内ではその確保に向けて対応ができると思います。215を超えた場合、どのように対応するかということにつきましては、現在、まだ検討中です。

【吉村知事】

- ・215ですか。確保数は206ですか。

【健康医療部長】

- ・現在、お約束いただいているのは206です。

【吉村知事】

- ・その206については、それぞれ病院ごとの病床数も出ていると思うので、その一覧はここにはないですけれども、(今後、)患者の方が多いということであれば、無理なお願いをしなきゃいけないところもあると思います。今も無理なお願いをしているんですけど、「この病院がどうしても」ということがあったら、僕からも直接その病院にお願いするということも含めて考えたいと思います。
- ・それぞれの病院について、確保数と今どれだけ受け入れてくれているのかも含めて、オープン資料にはなっていないのですが、どうしてもなかなか206までいかないということがあれば、そうなる前に僕の方に報告もお願いしたいと思います。

【健康医療部長】

- ・各病院も非常に頑張っただいただいていると思うんですが、これまでの5月、8月の状況と違うのが、社会活動がもうほぼフルに戻っているということで、通常の、例えば外傷、交通事故であったり、他の脳や心疾患であったり、そういう三次救急の方もフル稼働しているということで、コロナ専用の重症病床を計画通り空けるというのが非常に厳しい状態になっています。
- ・一般救急の患者数が、5月のときのように、多少、減少があれば、かなり各病院、コロナ対応の重症ベッドを開けるのにも余力が出てくると思うのですが、今それぞれの病院がギリギリのところで、他の疾患の方への対応もしなければいけないということで、ギリギリのご判断をいただいていると思います。また状況はご報告したいと思います。

【吉村知事】

- ・準備の期間もあると思うので、もう無理ですという前に報告をお願いしたいと思います。
- ・それから、206床を超えたときどうするかというのは、三次救急の先生方で協議をお願いしたいということですが、それを超えてくる可能性は十分あり得るのかなと思いますので、検討をよろしく願いします。
- ・大阪市でも、病床の確保については、大阪市民の皆さんの重症も非常に多いので、僕から松井市長に直接お願いもしていますが、ここは力を入れてやっていただきたいと思いますので、大変な状況はわかっているのですが、よろしく願いします。そのあたりは、大阪市病院機構、市大病院も含めてど

うですか。

【大阪市健康局首席医務監】

- ・大阪市の病院も、鋭意、十三市民病院を筆頭にコロナ対策を頑張ってくださいではありますが、かなり長期戦になっておりますので、スタッフの疲弊も高まっているのは確かでございます。その中で、市総合医療センター、市病院機構、市立大学、十三市民病院が今、協議をしております、人員の配置やベッドのコントロールについての調整を図っているところでございます。市総合医療センターにおきましては、市民の病院として非常に高度な医療を提供している病院でございますので、コロナに特化して全て動かすという判断はなかなか難しいところではございますが、市長の方からもコロナの対応をしっかりせよというご下命もいただいているところですので、努力しているところです。

【吉村知事】

- ・そちらの方はしっかりとお願いします。

【大阪市健康局首席医務監】

- ・わかりました。

【吉村知事】

- ・病床を確保したとしてもそれを超える感染拡大があれば、いずれ病床数を超えてくるということになると思います。感染拡大防止策を府民の皆さんにお願いする、今回、休業要請もお願いしますが、そこを強めていきたいと思っておりますので、それぞれの部局においても関係各所がありますので、今はブレーキをかけるということに力を入れたいと思っておりますのでよろしくお願いします。
- ・GoTo トラベル、GoTo イートについては、これは国の事業でもあるので、今、大阪府の方針、そして要請内容を決定しましたから、この会議終了後、直ちに国に対しての報告、要請をよろしくお願いします。

以上